

優秀賞

かみさまにおねがいしたこと

福岡県 北九州市立足立小学校一年 小田 孝太朗

四がつ十四か、ぼくのすんでいるふくおかけんの
おとなりのくまもとけんで、おおきなじしんがあり
ました。ぼくのマンションもすぐゆれて、しょっ
きだながガタガタといました。まよなかだったの
で、ぐっすりねていたぼくもめがさめて、すぐにつ
くえのしたにかくれました。それから、またゆれた
らどうしようと、こわくてずっとふとんをかぶって
いました。

つぎのひのあさ、おかあさんがテレビをみながら、
「おじいちゃんとおばあちゃんのいるくまもとけん
がたいへんなことになっている。」

とおおきなこえでいきました。ぼくはテレビをみて、
びっくりしました。いえがつぶれていたり、どうろ
にひびがはいったりしていました。ぼくのだいすき
なくまもとじょうもくずれていました。まいとしお
ねがいごとをしているあそびんじやもつぶれていま

した。かみさまは、きっといっぱいいないいるだろ
うとおもいました。

よしんがつづいたので、おじいちゃんとおばあち
やんにあえたのは、なつやすみになってからでした。
おじいちゃんたちのいえは、ほとんどこわれなかつ
たけど、いえのなかは、われたり、つかえなくなつ
たりしたものがたくさんかたづけられていて、すこ
しさみしくなったようにかんじました。

「こうたろう、ようきたな。」

といて、おじいちゃんとおばあちゃんがえがおで
むかえてくれて、それからじしんがおこってからの
ことを、たくさんはなしてくれました。

「こわくなかったの。」

ときくと、

「こわくてかなしくて、まいにちなみだがでそうだ
ったけど、きんじよのひととたすけあったり、ボ

ランティアのひとにてつだってもらったりして、
すこしずつげんきになったんだよ。」

といいました。ぼくは、げんきになるにはおくすりをのみます。でも、たくさんのひとからやさしくされることも、げんきがでるんだなどおもいました。やさしいきもちが、げんきになるなんて、すごいとおもいました。

つぎのひ、ぼくはあそびんじやにいて、おこづかいをじんじやのひとにわたして、こわれているじんじやのむこうにいるかみさまにむかって、

「これから、ともだちやこまっっているひとにぜったいやさしくします。」
とやくそくしました。

